

## 令和5年度事業計画

日本連盟創立101年目の新たな一步を踏み出すにあたり日本連盟より示される日本連盟の事業方針を旨とし、令和2年度に策定された千葉県連盟中期計画(2020～2022)の評価反省を踏まえて令和5年度事業計画を策定し、その目標達成に向けて事業を実施します。

さらに千葉県連盟では今年度より再編成された県連盟内新地区のそれぞれの活動の活性化と確実な地区運営と団支援強化への目的達成に向けた支援を行い、従前より継続的に取り組んで来た「活動的で自立したスカウトを育てよう!!」に取り組みます。

また、「スカウト運動の価値を高め、加盟員拡大、中途退団抑止」に務め「元気な団を作ろう」を継続する事を基本方針に定めて県連盟の施策を実施します。

令和5年度は、前3カ年にわたり猛威を振るった新型コロナウイルス感染症もまだまだ予断を許さない状況ではありますが、最近では感染症対策の変遷により、活動への制約もやわらいで参りました。

しかし、まだまだ自粛を求められる場面も多くあるものと思われますので、的確な状況判断に基づき活動の回復を目指し、基本方針のもと事業を推進します。

本年は、第25回世界スカウトジャンボリーが8月に韓国で開催されますが、一方県連盟としては、延期・中止となったカブラリー、県キャンボリー、また各団における隊キャンプの不実施など、コロナ禍で体験出来なかったスカウト活動における進歩進級への配慮等課題は山積されています。

県連盟では、これらの事項について基本方針に従い、効率的な組織運営に取り組むとともに事業展開を推進して参ります。

### 《基本方針》

- ・活動的で自立したスカウトを育てよう!!
- ・元気な団を作ろう
- ・スカウト運動の価値を高めよう!!

### 《重点目標》

- ・質の高い活動に取り組めます。
- ・保護者と活動する地域へスカウト運動の取組をアピールすると共に連携強化に取り組めます。
- ・プログラム活動の楽しさを体験することにより、中途退団の抑止に務め加盟員の拡大と組織拡充に取り組めます。
- ・隊指導者・地区コミッショナー・団の経営者等人材の育成強化に取り組めます。
- ・県連盟の運営基盤の強化に取り組めます。

### 《重点施策》

- ・スカウト活動の単位である「団」の教育力の向上と団運営責任者(団委員長)への支援に取り組めます。
  - (1) 団委員長が、団経営者として経営力と問題解決力を高め、行動出来るよう支援を強化します。
  - (2) スカウト運動の理解者、仲間を増やすため、ボーイスカウト講習会に多くの方が参加出来るように環境を整えます。

(3) スカウト教育の本質を理解し充実した活動プログラムを提供できる指導者を養成するために、ウッドバッジ実修所・団委員実修所の参加を支援します。

(4) セーフ・フロム・ハームへの理解促進と「思いやりのこころを育む教育」を積極的に推進します。

・組織強化、人材確保と育成、経営基盤強化に取り組めます。

(1) 地区再編結果を踏まえて団の実情を把握し団への支援に必要な人材や組織の必要性から、地区コミッショナーを中心とした団支援施策の充実を目指します。

(2) 県連盟の法的地位を確立し、社会的信頼度を向上並びに県連盟の経営基盤強化に取り組むため「一般社団法人設立」に向けた検討を進めます。

(3) 質の高い指導者訓練が実施出来るよう研修施設の確保に務めると共に指導要員の育成を強化します。

(4) 経営基盤強化の具体的活動として、日本連盟維持会員・千葉県連盟維持財団支援者の拡充を進めます。

・地区再編に伴う地区組織等の合理化と地区人材の活用を進める事により団への支援を強化することとし、スカウト活動の基本単位である団組織の標準化をめざします。

(1) 地区内各団相互の交流を進めます。

(2) 班・組の活動を通じて、プログラムに参画するスカウトが自らの考えで行動し、仲間との活動が楽しいと感じられる体制として、全ての団が複数班、複数組(標準隊を目標に)を目指します。

・質の高い楽しいプログラムを提供すると共に、中途退団の抑止並びに加盟員拡大に向けて取り組めます。

(1) 全部門のスカウトが活動に求める「楽しさ」と保護者が求める「教育的価値」を併せて展開出来る活動を目指します。

(2) スカウト教育法の理解促進と実施展開が出来る隊指導者の育成を進めます。

(3) SDGS への取り組みとして Earth Tribe 導入を推進し団や隊が様々なプログラム展開の中で、展開が出来るよう支援します。

(4) 広く一般の方々を対象として自然体験活動を通じて、スカウト運動への興味と理解を深めて頂く機会を提供出来るよう支援します。

(5) 時代に則した SNS 等も活用し、多くの方々がスカウト活動や体験活動等の情報に直接アクセスが出来る体制を整備します。(欲しい情報に直接たどり着けるように)

・隊指導者、地区コミッショナー、団の経営者(団委員)等人材の育成・強化に取り組めます。

(1) Adults in Scouting (AIS)のさらなる理解と周知を推し進め、特にアダルトライフサイクルに沿った人材を活用し、さまざまな役務を担う成人指導者への支援と訓練を提供します。

(2) スカウトの保護者等本運動に関わる全ての人々を対象としてボーイスカウト講習会開催します。

(3) 隊長としての基礎訓練としてウッドバッジ研修所スカウトコース並びにウッドバッジ研修所課程別研修を開催します。

(4) 隊長としての役務を果たすためにウッドバッジ実修所カブスカウトコースを開設します。

(5) 団指導者(団委員長・団委員)として円滑な団経営を行うために団委員研修所並びに上級訓練の団委員実修所への参加を支援します。

(6) コミッショナーへの支援としてコミッショナーベシクトレーニング、コミッショナー任務別研修(地区コミッショナー)への参加を支援します。

## 《重点事業》

- (1) 第25回世界スカウトジャンボリーへの参加派遣
- (2) 千葉県ベンチャーチャレンジ2023の実施
- (3) わくわく自然体験活動の継続実施
- (4) 全国防災キャラバンの実施
- (5) 千葉県カブラリー、千葉県キャンポリーの具体的実施計画の策定
- (6) 千葉県連盟創立75周年に向けた準備作業の開始

## 《コミッショナー活動方針》

～団の教育力を向上し、地域でのスカウト運動のプレゼンスを高めます～

県連盟内のすべてのコミッショナーは、スカウト運動の主役であるスカウトのより良き成長のため、本活動方針により団・隊の支援にあたります。

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、スカウト、指導者の健康と安全の確保を最優先に考え、ウイズコロナにおける活動が展開されるように必要な支援を行います。団が教育力を高め、活動的で自立したスカウトを育てることが出来るように、コミッショナーは団や隊の身近な支援者として活動を展開します。

総コミッショナー活動方針による団・隊の支援を各運営委員会、地区コミッショナーと連携し推進します。

1. 充実したプログラムが提供できるよう指導者の資質向上に取り組みます。

各部門の「教育の目的」と「活動の目標」を達成できるプログラムが提供できるように隊指導者の支援に取り組みます。

ラウンドテーブルの充実に向けて、引き続き県連盟共通のテーマを部門毎に設定して実施展開します。

2. スカウト教育法に基づくプログラムと、スカウトスキルに裏打ちされた野外活動が展開でき、スカウト運動の価値を再認識し実践できるよう隊指導者へのインサービス・サポートを充実させます。

スカウト教育法を活用したプログラムの展開、プログラム立案におけるスカウトの参画の実現とスカウティングの価値(班制教育、成人の協力、進歩、野外活動、累進的一貫性教育)をプログラムにおいて実践出来るよう指導者を支援します。

3. スカウトの参画を進めます。

スカウトの年代に応じた意思決定への参画を進めます。青少年の青少年による活動であることの啓発と、実現に向けた支援を進めます。

4. 県ローバース会議と連携し、ローバーススカウトの「自己の確立」を支援します。

ローバーススカウトと指導者との良いコミュニケーションによりスカウトにこの部門の特色である「心身の鍛錬による奉仕能力の向上」や「国際性の涵養」の機会を提供します。

5. 団の自己診断(全団調査)を活用し、地区コミッショナー、団担当コミッショナーと協働し、各団の状況に併せた支援を推進します。

団継続審査、全団調査をはじめとする各種データを通して、団・隊の現状を把握し、団委員長との対話を通して、団の強み、何が必要なかを共に考えます(団訪問の推進)。加えて団持続性サイトを活用し支援策を立案し団の教育力向上を推進します。

6. 団・隊指導者の支援を充実させるため、コミッショナーグループの更なる質の向上に向けたトレーニングを推進します。

スカウト運動の推進者であるコミッショナーとしての資質の向上に取り組みます。コミッショナーベーシックトレーニングコース、県内コミッショナー会議・研究集会などを通して、コミッショナーの支援力の更なる向上に取り組みます。

## 《事業》

### (1)スカウト委員会

スカウト関係事業については、活動的で自立したスカウトを育てるために、スカウトの進級の支援と促進、プログラム関連事業の充実を図ることを目的に、以下の事業を進めます。

- ① ボーイスカウト救急法講習会を4回・看護法講習会を1回開催し、関連進級課目の履修、技能章の取得を支援します。また、講師・指導員の勉強会を通じてスタッフの資質向上と講習の質的向上を図ります。救急法講習会・看護法講習会の講師を募集し、講師・指導員の増員を進めます。
- ② スカウトの進級を促進、奨励し、地域におけるスカウト運動の存在感を高めるため、富士スカウト及び単スカウトに対する顕彰会を開催します。併せて、地区における菊スカウトの顕彰、団での進級褒章を積極的に推進することを奨励します。
- ③ スカウト・指導者に多様な活動事例を提供し、プログラムの活性化を図るとともに、上級部門への上進、単・富士スカウト章への進級意欲を高めることを目的に、「スカウト活動発表会」を開催します。内容について、コミッショナーと連携の上、スカウトの意見も取り入れて見直しをします。
- ④ 信仰の奨励を支援するため、各地域で年1回程度の講話会、宗教章取得のための勉強会開催を支援するとともに、信仰奨励章、宗教章の取得に関する各宗派よりの情報の提供を図ります。
- ⑤ 各種国際交流機会など多様な活動へのスカウトの参加を奨励し、支援活動を行います。
- ⑥ 第25回世界スカウトジャンボリー派遣に対し、訓練・準備を支援し、県連盟壮行会を実施します。

### (2)指導者養成委員会

指導者支援関連事業としては、ボーイスカウト講習会・ウッドバッジ研修所等の定型訓練に加え、団委員研修会の開設の他、他委員会とも連携して各種指導者向け訓練を開設、支援し、教育力の向上と人材育成を目指します。さらに令和5年度からの地区再編に対応し、委員会業務の効率化と指導者訓練事業の適正化により、円滑な新体制への移行を進めます。

- ① どなたでも参加できる成人向け導入研修として、ボーイスカウト講習会、団委員研修会の開設を支援します。保護者を始め一般の方を含む多くの方々にスカウト活動への理解を深めていただくことで、本運動の普及と活動を支える方々のすそ野を広げ、今後の人材の発掘につなげます。
- ② 隊指導者向け基礎訓練として、ウッドバッジ研修所スカウトコース、課程別研修を開設します。スカウト教育法の理解促進と実施展開が出来る隊指導者を育成し、楽しく、教育的価値を併せ持つプログラムを提供することで、活動の魅力を高めて中途退団の抑止につながるよう支援します。
- ③ 団指導者向け基礎訓練として団委員研修所への参加を支援します。スカウト活動の基盤となる団委員長・団委員が担当する役務について学ぶことで、団組織の活性化と地域社会との連携が実践できる団指導者の育成を目指します。
- ④ 隊指導者・団指導者上級訓練として、ウッドバッジ実修所カブスカウト課程を開設します。また、団内の教育力を高め、団経営の基盤を強化してさらなる団の発展につなぐため、ウッドバッジ実修所、団委員実修所等の上級訓練への参加を支援します。
- ⑤ コミッショナー研修として、コミッショナー・ベーシック・トレーニングコース、任務別研修地区コミッショナー課程への参加を支援します。

- ⑥ 活動的で魅力あるプログラムの提供、活動の安全等を促進するため、コミッショナー・他委員会とも連携の上、以下の事業を実施あるいは支援します。
  - ・日本赤十字社救急法基礎課程講習会、同救急員養成課程講習会
  - ・スカウト技能に関する研修会、進歩の研修会
- ⑦ これらに事業を円滑に推進するため、所有資機材の維持管理、研修用備品の更新・調達を行ないます。

### (3)運動拡充委員会

運動拡充関係事業としては、新規加盟員増加のための募集活動の支援、中途退団者の減少に向けた保護者への効率的な情報発信、地域社会・行政・企業との連携強化に向けた取り組みを推進します。

#### ① ワクワク自然体験活動の推進

ワクワク自然体験活動を全団で実施できるよう地区と協働して支援します。

ワクワク自然体験活動の効果を分析し、より魅力的な活動となるよう支援します。

#### ② 防災キャラバン事業の実施

日本連盟と協同し、県下での防災キャラバン事業を推進します。

#### ③ 募集活動への支援

募集活動の成功事例を研究し、事例やツールとして各団へ提供します。

募集活動のための資金的支援を検討します。

募集活動が停滞する地域・団に対して、地区と協働して支援します。

#### ④ 保護者へ向けた情報発信の研究

現代の保護者年代に対する情報発信の方法について研究を行います。

研究の成果を募集活動や広報活動へ展開します。

#### ⑤ 広報ツールの充実

スカウトちば、ホームページ、フェイスブックの連携の強化と充実を図ります。

新たな広報ツールについて研究し、広報活動へ展開します。

#### ⑥ 地域社会・行政・企業との連携強化支援

活動に対する行政の後援を得るためのノウハウについて各団へ提供します。

地域社会・行政・企業主催の青少年が貢献できる事業に積極的に参加するよう働きかけます。

### (4)総務委員会

総務委員会としては、重点項目に掲げられた「県連盟の運営基盤の強化」について前年度に引き続き、各委員会等と連携し次の事項について継続して取り組んでいきます。

- ① 本年度からの地区再編ともなう県連盟運営体制変更について、県連盟事務局、組織評価特別委員会と協働して対応していきます。
- ② 県連盟財政基盤強化を図るため、千葉県連盟維持財団維持会員と日本連盟維持会員の会員増強を図り、千葉県連盟維持財団助成金および日本連盟維会費還付金の安定確保に努めます。また、県連盟経由のスカウト用品販売について周知に努め、日本連盟よりの販売還付金増額に努めます。
- ③ 令和2年度に制定した「県連盟中期計画」が令和4年度に計画期間が終了しました。その達成状況詳細について分析し、今後の県連盟事業計画策定の参考にしていきます。
- ④ 県連盟倉庫の確保と維持管理を行います。

- ⑤ 県連盟運営に関し他の委員会等所管に属さない業務事項について、その運営方法の策定に取り組みます。

(5)「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会

県連盟の「スカウト教育の質の向上」「安全で安心できるスカウト運動」を推進します。

- ① 県連盟内のセーフ・フロム・ハーム意識の向上を図ります。  
スカウトに対しては「思いやりの心を育む」教育の推進をいたします。  
指導者に対しては、セーフ・フロム・ハームの情報提供と研修を実施します。  
特に地区での推進に対して支援を行ない、今後の更なる研究に取り組みます。
- ② 県連盟事業開催時のセーフ・フロム・ハーム推進活動の取り組みに対して支援いたします。
- ③ 安全普及フォーラム等、スカウト活動の安全等を促進するための事業を展開します。

(6)千葉県ローバース会議

県内のローバースカウト及び同年代の指導者の活性化を図るために、次の施策に取り組みます。

- ① 地区再編成に伴う新たな地区ローバースの活動基盤を創り、ローバー活動の推進をします。
- ② ローバー年代の活動の活性化に資する取り組みをします。
- ③ ローバー活動や社会生活で役立つボーイスカウト技術を、動画作成や SNS 等を活用して発信します。
- ③ 全国ローバースカウト会議(RCJ)の行事への参加を推進します。
- ⑤ オンラインツールを活用しつつ対面での活動機会を創出・提供し、ローバーが活動の魅力を見出せるようにします。

(7)組織評価特別委員会

令和5年度から始動した千葉県連盟内4地区体制のフォローを行うとともに、千葉県連盟が社会的により一層信用を得るための方策として一般社団法人化について検討します。

(8)ベンチャーチャレンジ 2023 (仮称)

県内のベンチャースカウトにスカウトスキルを使った活動の楽しさを体験させることを通じて、スカウトスピリッツを実践して友情を育み信頼の大切さを実感し、さらなる挑戦のきっかけとします。

そのために、スカウト運動の基本である野外活動(野営)を通じて、その重要性を確認し、自ら考え行動する力を育むと共に、プログラムとしての試練を乗り越える体験の中から、信頼・絆の大切さと、友情を育み、スカウトスピリッツ(徳性、忍耐力、気力、清貧)を実践します。

(9)第 22 回千葉県カブラリー

コロナ禍により開催が延期や中止となっていた千葉県カブラリーは、カブスカウトとして貴重な体験プログラムであることから、開催中止となった過去のプログラム等を活用することとして、実行委員会を早々に発足させ実施する。